

# 座る、移動する日常生活にやさしい自立と介護を。

## 車いすの種類

### 自操式車いす

使用者自身が操作できる後輪が大きく、ハンドリムが付いた車いす。



### 介助式車いす

介助者が押して移動し、後輪が小さく小回りがきき軽量の車いす。



### リクライニング・ティルト機能

車いす自体に姿勢を変える機能を持たせ、姿勢の保持をしやすくする車いす。

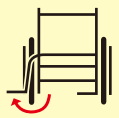


### 電動車いす

わずかな力で操作ができ長距離の移動に便利な車いす。電気の力で動くため操作の確認が必要になります。



## 車いすの便利な機能



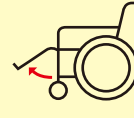
**スイングアウト**  
フットサポートを外せ移乗に便利。



**肘かけ**  
肘かけが外せたり、はね上げれたり、車いすの横からの移乗に便利。



**背張り**  
背シートのはり調節により背中への圧迫を軽減。



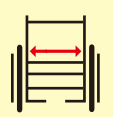
**エレベーターング**  
脚部の上下角度を自由に変更できる。



**リクライニング**  
車いすの背もたれの角度が調節できます。



**ティルト**  
背角度をそのまま座面角度を変え、姿勢保持をしやすくします。

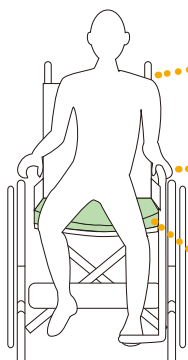


**座幅**  
座シートの幅。

## 車いすに座ってのチェックポイント

機種が決まったら、実際に座ってみてください。座った時は良くても、操作したり、長い時間座っていると姿勢がくずれてくる場合があります。車いすを使用される方の体に合っているかどうか、実際に使用する条件に即して判断することが大切です。

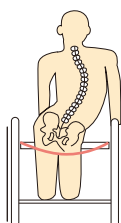
● **体が横に倒れる** 体のバランスが悪い場合に起こります。姿勢を安定させようとして肘掛けをしっかりと握るため、手を自由に使うことができません。



● **背もたれの形状が合わない**  
体を側方から支える姿勢保持用バックレストにします。

● **肘掛けの高さが低い**  
肘掛けの高さ調整機能付の車いすにします。

● **座シートが弛んでいると体が傾きやすい**  
座面が水平になる座クッションを使用します。



● **お尻が前方にずり落ちる** いわゆる「ずっけ姿勢」のことで、ふだん体重の乗らないところに圧力がかかるため、お尻が痛くなります。

● **座り方が悪く、浅く座っている**  
良い姿勢で座るための乗り移り方法を考えます。

● **座シートの奥行きが長すぎるため、浅く座ってしまう**  
体に合った座シート長の車いすにします。

● **フットレストの高さが合っていない**  
フットレストの高さを合わせます。



● **背もたれの形状が合わない**  
腰を支える背クッションにします。

● **たわんだ座シートは、お尻が前に滑りやすい**  
肘掛けの高さ調整機能付の車いすにします。または、お尻の形状に合った座クッションを使用します。

特殊寝台・特殊寝台付用品

床ずれ予防用品

車いす・車いす付用品

スロープ

歩行補助用品

手すり

移動用リフト・徘徊用感知機器

住宅改修